

なごむ 和



華泉書道会
野村
遊筆

サークル紹介：25

柚子の木会



はなみずき通り

柚子の木会

私達は「柚子の木会」と申します。平均年齢は60代後半です。発足は平成30年1月15日に10人で始めました。その後出入りもあり、現在在籍しているメンバーは8人です。今年で4年目になります。主な活動としては着物のリメイクや洋裁一般を行っています。

例えば家にある着物やお友達などに着物を頂いたりしながらそれをほぐし、ワンピースやコートなど個々自由にリメイクしています。他にも手持ちの生地を使って洋服作りやパッチワークなど、多岐にわたり色々な事を楽しんでいきます。

以前は町の福祉まつりなどで作品の展示を行っていました。最近では新型コロナウイルスの影響で発表の場がありませんが、これから新たな発表の場にもチャレンジができると思います。毎週月曜日午前9時30分から午後0時30分までの間活動をしています。

興味のある方はぜひ見学に来てみてください。

ありがとう 感謝の 400号 これからも読んでね!



昭和30年代頃の写真は、当時、大川中（現南中）は、西側に校舎がありました。下の写真からわかるように、現在その場所は、町公民館と青少年広場になっています。左上には、現在の役場、商工会の位置に昔公民館がありました。

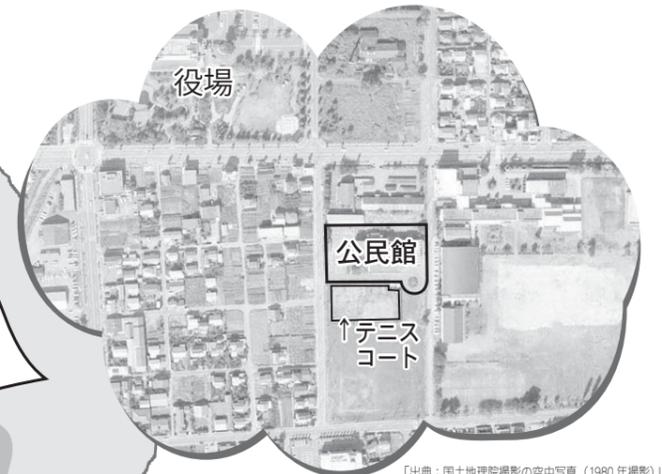
昭和19年生まれ、現在77歳の方は中学2年1月（昭和34年）に、新校舎に引っ越し、両方で学んだ経験があるそうです。



▲今も残っている、南側から北に向かって見た門柱 ▲上の写真は現在です。

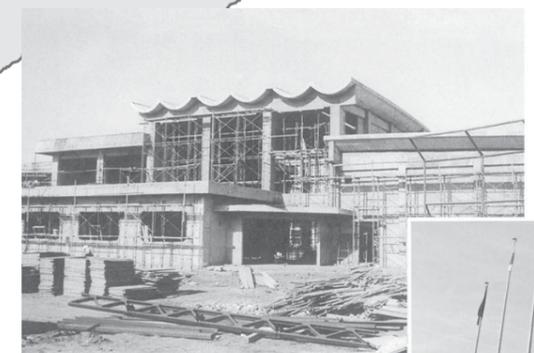


出典：開校五十周年記念誌（大泉町立南中学校）



「出典：国土地理院撮影の空中写真（1980年撮影）」

現在は整備され駐車場になりましたが、80歳前後の方はこのテニスコートで汗を流したそうです。



昭和47年頃の町公民館の建設工事の様子。



現在の町公民館

出典：大泉町発足55周年記念 大泉町今昔写真集



和(なごむ)の由来
「人と人との交流が、なごやかに、おだやかに行われるように」という意味が込められています。

編集委員長のあいさつ
昭和63年10月の創刊から400号まで休むことなく続けてこられたのは、多くの関係者の方々のお力と、毎月楽しみに待っていて下さる読者の皆様のおかげと深く感謝しております。
これからも委員一同皆様のお役に立つ「和」をめざして頑張っていきます。
今までと変わらぬご支援をお願いします。

毎月、「和」を楽しみにしています。過去現在を問わず大泉町の著名人とか、現在話題のSDGsなど取り上げてもえたら嬉しいです。期待しています。
S・M

400号おめでとつございませう。ふるさとの紹介の郷土料理や方言、リアルな生活がわかる編集後記が楽しいです。要望は、本・絵画・偉人の紹介や今日なんの日コーナー、また子ども達の事が知りたいです。
T・H&Y・O

「和」が400号を迎えるとのこと、おめでとつございませう！私も数年前にわたり編集会議に関わらせていただきましたが、輪番で進行役や記事を担当するなどフラットでフレンドリーな雰囲気でもさし和気藹々という感じでした。これからも本紙で読者の皆さんが和むことを願っています。
S・T

400回の編集会議・400回の取材・校正ご苦労様、コナは勿論いろいろあつたんだろつな。次の100回も、世の中は変化するけど安心してきる楽しい紙面を継続してください。微力ながら読者は投稿で応援するよ。
A・T

初号から三十三年余りになると思いますが、日頃の編集委員さんの細く長い努力が400号達成となったのだと思います、これからもますます活躍されますようお祈りいたします。
H・K

400号達成おめでとつございませう。心よりお祝い申し上げます。
初号から三十三年余りになると思いますが、日頃の編集委員さんの細く長い努力が400号達成となったのだと思います、これからもますます活躍されますようお祈りいたします。
今後、期待しております。
A・H

400号、おめでとつ。私のお気に入り、ちよつといひ話、編集後記です。心あたたまる話題や勉強になる内容が盛り沢山、幸福な出会いがある時には、心のポケットにしまっておきます。編集後記は、日々の風景や感情をつづり、マニュアルの無い貴方の自由の世界に導いて下さり、心が躍ります。
今後、期待しております。
A・H

読者の声

サークル フェスティバル

日 程：令和4年2月19日(土)
20日(日)

会 場：大泉町文化むら

入場料：無料（整理券が必要です）

主 催：大泉町公民館利用サークル
連絡協議会

KORIREN
CIRCLE

※お問い合わせ等くわしくは、
町公民館 ☎(62) 2330まで

—— 講座等にお申込みいただきみなさまへ ——

- 新型コロナウイルス感染症の状況により、中止する場合があります。あらかじめご了承ください。
- 新型コロナウイルス感染症対策にご協力ください。

●令和3年度地域社会講座

わたしと家族の「そうぞく」講座

日 時：令和4年2月10日(木)
午後7時～8時

会 場：大泉町公民館 ホール

講 師：明治安田生命保険 坂口 基徳さん

定 員：50人（どなたでも参加できます）

※お問い合わせ等くわしくは、
町公民館 ☎(62) 2330まで



“親子チャレンジスクール ～親子で避難所を作ろう～” のサポート体験

日 時：令和4年2月12日(土)
午前9時～正午

会 場：大泉町公民館 ホール

対 象：定員8人

（町内在住・通学の中学生以上の学生）

申し込み方法

町公民館へ直接または電話にて
申し込んでください。

※お問い合わせ等くわしくは、
町公民館 ☎(62) 2330まで



新年に4000号とは何と
めでたい。そういえば100
号も1月であった。この確率
を数式にすると、なんて考え
ていたら頭が痛くなってきた、
だれか教えて！、まずは次なる
目標の8年4ヶ月を目指して。

和に携わって早30年。
当時、子連れ参加だった末
娘も三児の母となりました。
「初心を忘るべからず」今年
も頑張ります。

〈京〉

4000号を目の前にして1
号から参加できたことに幸せ
と感謝の気持ちでいっぱい
です。月2回の会議には、情報
を持ち寄り学ぶことが多いで
す。私にとって1番大好きな
時間です♡

〈艶〉

地域の行事が無くなり、町
ですれ違ってもマスク越しで
は誰かも分からず、挨拶もな
くすれ違ってしまう。人との
つながりが希薄になってし
まったような昨今である。こ
れがウィズコロナの世界なの
か？

〈卓〉

新年も六十四回目ともなる
と、些か新鮮味に欠けるのは
仕方ない。しみじみとあの頃
は良かったと思う始末である。
臙げで曖昧な漠然たる過去の
「あの頃」を淡く想う。

〈好〉

1号から参加してきました。
「和」という題字を皆さんと
一緒に決めたことも、懐しく
思い出されます。4000号ま
での長い年月、その間結婚し
長男が生まれ、今では編集会
議が生活の一部になっています。

〈浩〉

私の昨年の一文字は「流」
職場も変わり、コロナ禍で生
活も変わったが、なるように
なったような。
新転地は居心地良く、有難
い。体力は無くなるが、歳と
るのも良い。

〈政〉

去年はずっと、コロナや地
震や噴火や軽石騒動或いは自
然災害の軒並みの発生で実
不安でした。今年こそは穏
やかで静かで何だかめでたい
1年になるよう毎日我が家の
神棚にお願いしております。
平穩第一で、今年もよろし
くお願いします。

〈章〉

紙面の企画に皆様からの原
稿や情報提供と、小学生から
は心温まる原稿など大勢の方
々に支えられて「4000号」
と、続けられました。
これからも「和」は皆様に
親しみ、楽しめる紙面をつ
くって行きたい。

〈ひ〉

本年も「和」を
よろしくお願
いいたします。

編集委員一同

